



看護 とちぎ

ーナースセンターニュース合同号ー



るりちゃん
(栃木県民の日マスコット)

とちまるくん
(栃木県マスコットキャラクター)

CONTENTS

- 2 新会長のあいさつ
- 3 平成28年度栃木県看護協会通常総会
平成28年度新役員紹介
- 4 第30回栃木県看護大会・
第26回「看護の日」記念行事
第30回栃木県看護大会
知事表彰受賞者
- 5 第30回栃木県看護大会
大会長表彰受賞者
- 6 第30回栃木県看護大会
感謝状贈呈受領者
- 7 平成28年度栃木県看護協会役員名簿
- 8 特集 今年の各委員会事業計画
- 11 一般の方へのコーナー ジカ熱・デング熱対策
- 12 ふれあい看護体験実施中
平成28年度「看護の出前授業」
「看護師になるための進路指導者説明会」を開催しました!
- 13 平成27年度 離職状況施設調査結果
- 14 訪問看護師育成に携って
平成28年度「看護職員再就業支援研修」開催中
看護職の相談こ～な～す! 6か所のハローワークで開催中
- 15 登録はお済みですか?とどけるん
eナースセンター(無料職業紹介サイト)登録で困っていませんか?
- 16 総会要綱 正誤表
- 17 新会員証・平成29年度継続申請書の送付が始まります!
- 18 味自慢・わたしのon-off・お知らせ・編集後記

※黒字は看護協会のページ、青字はナースセンターのページです。

会員数 10,622人 (H28.7.19現在)

| | |
|------|---------------|
| 保健師 | 534人 (19人) |
| 助産師 | 316人 |
| 看護師 | 8,988人 (738人) |
| 准看護師 | 784人 (61人) |

男子は()で再掲

新会長のあいさつ

公益社団法人栃木県看護協会 会長 渡邊 カヨ子



この度、会長に就任致しました渡邊カヨ子でございます。よろしくお願ひ致します。会員の皆様には、日頃より栃木県看護協会の活動に関して、ご支援とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

当看護協会においては、平成28年度栃木県看護協会通常総会が無事に終了し、着々と平成28年度重点課題に取り組んでおります。

今回、私は会長就任に当たり二つの抱負を挙げております。

一つ目は、社会ニーズに十分に応えられる看護職数の確保を目指すこと。18歳人口が減少傾向の中、看護職を選択してもらうためには、現役の看護職が元気はつらつで、自信を持って働き続けることが必要です。そのためにはワークライフバランス（WLB）を推進し、社会に向けて看護職の魅力を発信していきたいと思ひます。

看護職がどんなに「素晴らしい！」職業であっても、働く環境が過酷であつては、これからの若者が看護職を選択してくれるとは思へません。看護職の社会的な地位向上と、働きやすい職場環境が最も重要であると思ひます。看護職一人ひとりが生き生きと働くための支援をして行きたいと考えております。そのためには現場の声は重要です。様々な機会に、会員の皆様の声を看護協会にお届けいただきたいと思ひます。

二つ目は、組織強化のために、看護協会の会員数増加を目指したいと思ひます。そのための方策と啓発活動をしていきたいと考えています。

看護職が自信と誇りを持ち働き続けるためには、看護職としてのアイデンティティーが重要です。私は、アイデンティティーの成熟と維持は個人の力だけでは難しいと考えます。看護協会の会員になることにより、看護界の様々な情報をとりつつ看護職仲間の活動を見聞して、自分の立ち位置を確認することが重要と考えます。

我々、一人の力には限界があります。しかし、看護協会会員として職能団体の力で課題解決することは可能であると思ひます。

皆様と共に会員増加を目指し組織強化をしていきたいと思ひます。

よろしくご協力とご支援をお願い致します。



平成28年度公益社団法人栃木県看護協会通常総会

平成28年度公益社団法人栃木県看護協会通常総会が、6月18日（土）とちぎ健康の森講堂において開催されました。会員総数 10,349 名中、理事役員 20 名、本人出席 317 名、委任状 8,702 名、合計 9,039 名で通常総会は成立しました。

提出議案について、議長団の円滑な議事進行により、すべて可決・承認されました。その後、新役員紹介、新会長より退任役員への謝辞があり、最後に長年看護協会にご尽力くださいました前会長よりご挨拶を頂きました。



平成28年度 理 事 会



平成28年度 新役員紹介

役員としての抱負



保健師職能理事
栃木県立衛生福祉大学校
五月女祐子

会員の皆様が本会をより身近に感じられるよう、そして県民の皆様に看護職についての理解を深めていただけるよう、精一杯力を尽くしていきたいと思えます。



理事
森病院
駒場悦子

下学上達を心がけて、一つ一つの課題にしっかり取り組み、会の発展に尽力できるよう努めてまいります。



助産師職能理事
獨協医科大学病院
佐藤君江

皆様のお力をお借りして、看護協会のため、そしてすべての母子とその家族のために努力してまいります。



監事
獨協医科大学看護学部
山口久美子

理事の職務執行・財務の監査・必要時は意見陳述する、3つの役割の重要性を認識し誠実に務めてまいります。



第30回栃木県看護大会・第26回「看護の日」記念行事

第30回栃木県看護大会・第26回「看護の日」記念行事が5月14日(土)栃木県総合文化センターで開催されました。式典では、長年看護に携わりご尽力された功績により、知事表彰5名・大会長表彰20名・感謝状贈呈16名の合計41名の方が受賞されました。また高校生・看護学生による「ふれあい看護体験発表」や辻麻紀子バレエスクールのジュニアクラスによる発表が行われました。

各ブースでは、まちの保健室や進路・就職相談室、お子様白衣モデル体験など、参加することで看護の魅力に触れられる企画コーナーがありました。

記念講演では本県出身で野球解説者の広澤克実氏による「夢へのチャレンジ」～我が野球人生 野村・長嶋・星野監督に学んだこと～というテーマで貴重なお話をいただきました。タイプの異なる指揮官を「ホトギス」の句に準えた解釈と独自のマネジメント論に多くの学びを得た講演でした。



第30回栃木県看護大会知事表彰受賞者 (所属施設は平成28年3月31日現在)

私の信念



済生会宇都宮病院
大竹信子

この度、知事賞を賜り感謝申し上げます。私の信念は、看護職に誇りを持って仕事をすることです。



栃木県看護連盟
直井八重子

何と云っても健康に恵まれたこと、仲間に出逢えたこと、すべてに感謝して笑顔で過ごすことです。



栃木県看護協会
馬込公子

看護が大好きで、絶え間なく歩んできました。この度は栄えある賞を賜り感謝の気持ちでいっぱいです。「継続は力なり」で頑張ります。



真岡市役所
鱒淵清子

人びととの出会いを大切に、関係を紡いでいく。困難な時であっても、笑顔を忘れず、丁寧に向き合うこと。



鹿沼市役所
山口順子

人に優しく、自分にも優しく。気配り、目配りを大切に、関係する方々や地域の住民と一緒に歩んでいきたい。



第30回栃木県看護大会大会長表彰受賞者 (所属施設は平成28年3月31日現在)

私の信念



芳賀赤十字病院
熱田政子

これまで、たくさんの出会いが私を成長させてくれました。相手を思いやる心と、感謝の気持ちを忘れないこと。



済生会宇都宮病院
伊澤紀子

「人事を尽くして天命を待つ」自分の全力をかけてできる限りのことをする。必ず最善の結果をもたらしてくれる。



足利赤十字病院
伊藤幸子

なかなかうまくできないのですが、相手の話をよく聴くことです。そこから道は開けるように感じています。



真岡市役所
伊藤洋子

困難な時も強い思いで前に進んでいくこと。これからも、感謝の心を大切に、和顔・私らしく頑張っていきたい。



佐野厚生総合病院
猪熊洋子

「意志あるところに道はできる」の信念で、当たり前のように日常に感謝、自分らしく「今」を大切に歩むことです。



佐野市民病院
岩上広美

多忙の中でも、患者・家族の声に耳を傾け寄り添う看護を続けていきたいと思います。



獨協医科大学病院
内堀由美子

「感謝」多くの方に支えられ今の自分があることを忘れず、「ありがとう」を素直に言える心を持ち続ける。



上都賀総合病院
大貫洋子

私心がけている事は、誰に対しても平等に優しく、労わりの言葉かけと明るい笑顔で接することです。



自治医科大学附属病院
小曽根佳枝

人には、「心は丸く、気は長く」、物事に対しては、「偏らない、捉われない、拘らない」を心がけています。



足利赤十字病院
小田桐文子

「心で対話すれば、分かり合える」の強い信念をもって、患者・家族の皆様の苦情やクレームに向き合っています。



訪問看護ステーション
みやの杜
川島由美子

利用者本人と家族の思いにできるだけ寄り添い、訪問看護を利用し関わってもらって良かったと思って頂くこと。



済生会宇都宮病院
小林睦美

特技を磨くことは自分を磨くこと、自分を磨くことは自信を磨くこと。助産師として技術の伝承に尽力したい。



県西健康福祉センター
齋藤澄子

あたえられたチャンスをできるだけ活かす事、相談しやすい雰囲気での事を心がけている。



栃木県立衛生福祉大学
齋藤弘子

大切にしたいのは、しっかりと見て、ちゃんと聴いて、言葉を伝えること。面白さを探すことを忘れないこと。



安足健康福祉センター
根岸真知子

できることを増やすより、楽しめることを増やすよう心がけています。



那須赤十字病院
野原往子

笑顔を大切にしています。出会った多くの方の笑顔思い出して、前向きに日々を過せるようにしています。



自治医科大学附属病院
樋口一江

人が人らしく最後まで生きられるように、自然が患者に働きかけるのに最も良い状態に患者を置くこと。



栃木県立がんセンター
平賀忠男

これからも常に向上心を持ち、微力ではありますが、自分のできることを継続していきたいと思っています。



宇都宮市役所
増淵美樹

「平常心は道」どんなことがあっても普段通り、気負わず、淡々と最善の方法を考えて行動すること。



小山自然育児相談所
伊東厚子

ラクで楽しい母乳育児を推進し、家族の健康を守る母親を育成し、未来を支える健全な子どもを育む支援をすること。



第30回栃木県看護大会感謝状贈呈受領者 (所属施設は平成28年3月31日現在)

私の信念



自治医科大学附属病院

相賀美幸

ことわざ「笑う顔に矢立たず」の如く、看護師として朗らかに勤めるよう心がけていますが自省は尽きません。



佐野厚生総合病院

浅海幸代

自分にできることを、一生懸命にやること。人に感謝する気持ちを忘れないことです。



とちぎリハビリテーションセンター

浅川久枝

患者さんが、安全・安楽に過ごせること。スタッフが、笑顔で元気に過ごせること。



那須赤十字病院

池田幸子

「ありがとう」の言葉を大切にすることを忘れずに、常に同僚、家族に深く感謝していきたいと思ひます。



とちぎメディカルセンター
下都賀総合病院

石川利恵子

これまで真気で患者様に向き合っ
て参りました。これからも患者様
に寄り添い共に笑顔になれる看護
を実践します。



とちぎメディカルセンター
とちの木病院

入江悦子

「心のある看護」「笑顔」を忘れず
看護に携わってきました。これか
ら自分らしく頑張っていきたい
と思ひます。



芳賀赤十字病院

梅原カツエ

『経験は財産なり』体験(汗や涙・
悲しみや苦し)を通して得た知
恵は、自ら生きる上で生涯の宝と
なる。



国際医療福祉大学
塩谷病院

海老原幸枝

人の支えは大切なもの。ナースであ
る自分が誇らしく思え、今後も「コ
ミュニケーション」をモットーに。



JCHO うつのみや病院

久保田みち子

チームワーク・連携を大切にして、
自分らしく前向きに仕事を全うす
る事を信念として看護を行って
います。



自治医科大学附属病院

関口淑子

今日という日は一生に一度。一日
一日を大切に生きていたい。



国際医療福祉大学
塩谷病院

手賀久美子

患者・家族の立場や気持ちに寄り
添った看護を提供し、何かお手伝
いをさせて頂くことを信念として
きました。



芳賀赤十字病院

寺方悦子

患者と共に歩む、患者の傍により
添う。看護はベッドサイドにあり。
これが私の信念です。



とちぎリハビリテーション
センター

土井靖子

様々な出会いを大切に、センスを
磨く。しなやかな自己形成と、一
人ひとりの輝く力を信じる。



栃木県立衛生福祉大学校

福田朋子

感動できる柔らかい心を持つこと。
失敗を成長につなげること。簡単
なようで実は難しいと感じる毎日
です。



上都賀総合病院

巻嶋ちよ子

チームワークを大切にした職場と
患者さん一人ひとりに寄り添い、そ
の人らしい生活と安心できる看護
を目指す。



とちぎ訪問看護ステーショ
ンくろばね

吉成真由美

支えてくれる多くの方々に感謝して
います。これからも思いやりと感
謝の気持ちを大切にしていきたい
です。



平成28年度 公益社団法人栃木県看護協会 役員・委員名簿

平成28年6月18日現在

役員名

| 役職名 | 氏名 | 施設名 |
|---------|--------|-------------------------|
| 会長 | 渡邊 カヨ子 | 公益社団法人栃木県看護協会 |
| 副会長 | 朝野 春美 | 自治医科大学附属病院 |
| 副会長 | 塚本 由紀子 | 栃木市役所 |
| 専務理事 | 菊池 園江 | 公益社団法人栃木県看護協会 |
| 常任理事 | 馬込 公子 | 公益社団法人栃木県看護協会 |
| 保健師職能理事 | 五月女 祐子 | 栃木県立衛生福祉大学校 |
| 助産師職能理事 | 佐藤 君江 | 獨協医科大学病院 |
| 看護師職能理事 | 齋藤 由利子 | 上都賀総合病院 |
| 理事 | 村上 充子 | 国際医療福祉大学塩谷病院 |
| 〃 | 関根 照代 | 新小山市民病院 |
| 〃 | 小澤 伸子 | 足利赤十字病院 |
| 〃 | 谷田 理恵 | とちぎメディカルセンターしもつが |
| 〃 | 糟谷 真知子 | 宇都宮中央病院 |
| 〃 | 仁戸部 富恵 | 獨協医科大学日光医療センター |
| 〃 | 河原 美智子 | 芳賀赤十字病院 |
| 〃 | 高橋 美知子 | 那須赤十字病院 |
| 〃 | 桜井 美恵子 | 栃木県立衛生福祉大学校 |
| 〃 | 細野 克子 | 独立行政法人地域医療機能推進機構つづのみや病院 |
| 〃 | 駒場 悦子 | 森病院 |
| 〃 | 坂上 和江 | 真岡病院 |
| 監事 | 山口 久美子 | 獨協医科大学看護学部 |
| 〃 | 荒木 剛 | 荒木税務会計事務所 |

| | 役職名 | 氏名 | 施設名 |
|----------|----------|--------|--------------|
| 助産師職能委員会 | 委員長 | 佐藤 君江 | 獨協医科大学病院 |
| | 委員 | 大山 洋子 | 芳賀赤十字病院 |
| | 委員 | 片平 有紀 | 国際医療福祉大学病院 |
| | 委員 | 塩田 利江 | 足利赤十字病院 |
| | 委員 | 吉成 律子 | 那須赤十字病院 |
| | 委員 | 今泉 玲子 | 獨協医科大学看護学部 |
| | 委員 | 小林 あゆみ | 上都賀総合病院 |
| | 委員 | 堀越 幸子 | 獨協医科大学病院 |
| | 委員 | 星 宏枝 | 済生会宇都宮病院 |
| | 看護師職能委員会 | 委員長 | 齋藤 由利子 |
| 委員 | | 印南 裕子 | 国際医療福祉大学塩谷病院 |
| 委員 | | 清川 明美 | 宇都宮中央病院 |
| 委員 | | 白石 浩子 | 獨協医科大学病院 |
| 委員 | | 鈴木 朋美 | 栃木県立がんセンター |
| 委員 | | 池田 律子 | 自治医科大学附属病院 |
| 委員 | | 大木 啓子 | 足利赤十字病院 |
| 委員 | | 齋藤 美樹 | 老人保健施設かみつが |
| 委員 | | 篠原 明子 | 芳賀赤十字病院 |
| 委員 | | 市村 利枝 | 白澤病院 |
| 委員 | | 井上文子 | 那須赤十字病院 |
| 委員 | | 野澤 英子 | 特別養護老人ホーム桜の華 |
| 委員 | | 五十嵐 宏通 | 新上三川病院 |

推薦委員会名

| 役職名 | 氏名 | 施設名 |
|-----|--------|------------|
| 委員長 | 猪熊 洋子 | 佐野厚生総合病院 |
| 委員 | 大竹 公子 | 獨協医科大学病院 |
| 委員 | 大保寺 和子 | 小山市役所 |
| 委員 | 小林 睦美 | 済生会宇都宮病院 |
| 委員 | 櫛田 恵津子 | 国際医療福祉大学病院 |
| 委員 | 根本 徳子 | 栃木県立岡本台病院 |
| 委員 | 上野 久子 | 自治医科大学附属病院 |

常任委員会名

| | 役職名 | 氏名 | 施設名 |
|-----------|------|---------|----------------------|
| 社会経済福祉委員会 | 担当理事 | 村上 充子 | 国際医療福祉大学塩谷病院 |
| | 委員長 | 森川 純子 | 獨協医科大学病院 |
| | 委員 | 刑部 洋子 | 宇都宮記念病院 |
| | 委員 | 中村 史江 | 足利工業大学看護学部 |
| | 委員 | 井上 芽衣 | 鳥山健康福祉センター |
| | 委員 | 堤 枝美 | とちぎリハビリテーションセンター |
| | 委員 | 藤野 はるみ | 独立行政法人国立病院機構栃木医療センター |
| | 担当理事 | 馬込 公子 | 公益社団法人栃木県看護協会 |
| 教育委員会 | 委員長 | 五十嵐 由理子 | 新小山市民病院 |
| | 委員 | 伊藤 禎子 | 芳賀赤十字病院 |
| | 委員 | 内堀 由美子 | 獨協医科大学病院 |
| | 委員 | 熊田 洋子 | 国際医療福祉大学病院 |
| | 委員 | 大豆生田 桂子 | とちぎメディカルセンターしもつが |
| | 委員 | 平澤 靖子 | 済生会宇都宮病院 |
| | 委員 | 小林 久枝 | 佐野厚生総合病院 |
| | 委員 | 鳥田 江津子 | 獨協医科大学日光医療センター |
| | 委員 | 築瀬 順子 | 自治医科大学附属病院 |
| | 委員 | 朝野 恵子 | 那須赤十字病院 |
| | 委員 | 兼康 和子 | 菅間記念病院 |
| | 委員 | 山形 文子 | 上都賀総合病院 |
| | 委員 | 熊倉 律子 | 壬生町役場 |
| | 委員 | 田甫 久美子 | 獨協医科大学看護学部 |
| | 委員 | 中河原 幸子 | 県南健康福祉センター |

地区支部長名

| 地区名 | 氏名 | 施設名 |
|-----|-------|------------------|
| 宇都宮 | 矢口 千秋 | 済生会宇都宮病院 |
| 県西 | 渡邊 悦子 | 県西健康福祉センター |
| 県東 | 戸崎 敦代 | 芳賀赤十字病院 |
| 栃木 | 高岩 和枝 | とちぎメディカルセンターしもつが |
| 小山 | 曾篠 史枝 | 新小山市民病院 |
| 県北 | 相馬 幸子 | 那須赤十字病院 |
| 安足 | 山田 哲子 | 佐野厚生総合病院 |

職能委員会名

| | 役職名 | 氏名 | 施設名 |
|----------|-----|--------|---------------|
| 保健師職能委員会 | 委員長 | 五月女 祐子 | 栃木県立衛生福祉大学校 |
| | 委員 | 中山 晴美 | 県北健康福祉センター |
| | 委員 | 鈴木 悦子 | 県東健康福祉センター |
| | 委員 | 根本 幸子 | 鹿沼市役所 |
| | 委員 | 畠田 道恵 | 宇都宮市役所 |
| | 委員 | 川又 聖子 | 栃木県安足健康福祉センター |
| | 委員 | 小林 典子 | 小山市役所 |
| | 委員 | 細島 弘子 | 真岡市役所 |
| | 委員 | 若林 珠江 | 栃木県栃木健康福祉センター |



| | 役職名 | 氏名 | 施設名 |
|-------------|---------|--------|-------------------------|
| 広報委員会 | 担当理事 | 朝野 春美 | 自治医科大学附属病院 |
| | 委員長 | 塩澤 由香 | 独立行政法人国立病院機構宇都宮病院 |
| | 委員 | 佐藤 幸子 | 済生会宇都宮病院 |
| | 委員 | 山口 聡美 | 栃木県立岡本台病院 |
| | 委員 | 青木 和子 | 佐野厚生総合病院 |
| | 委員 | 大塚 明子 | 国際医療福祉大学塩谷病院 |
| | 委員 | 大出 悦子 | 新小山市民病院 |
| | 委員 | 佐藤 由紀子 | 県西健康福祉センター |
| | 委員 | 田仲 史子 | 今市病院 |
| | 災害看護委員会 | 担当理事 | 谷田貝 理恵 |
| 委員長 | | 本多 秀子 | 那須南病院 |
| 委員 | | 橋本 美雪 | 獨協医科大学病院 |
| 委員 | | 鈴木 はるみ | 済生会宇都宮病院 |
| 委員 | | 中山 千穂 | 足利赤十字病院 |
| 委員 | | 笠野 佳代子 | 自治医科大学附属病院 |
| 委員 | | 矢吹 有子 | 独立行政法人地域医療機能推進機構うつのみや病院 |
| 委員 | | 渡邊 信代 | 那須赤十字病院 |
| 医療安全対策推進委員会 | 担当理事 | 細野 克子 | 独立行政法人地域医療機能推進機構うつのみや病院 |
| | 委員長 | 永井 智恵美 | 栃木県立がんセンター |
| | 委員 | 鈴木 美代子 | 済生会宇都宮病院 |
| | 委員 | 野沢 博子 | 自治医科大学附属病院 |
| | 委員 | 猪熊 洋子 | 佐野厚生総合病院 |
| | 委員 | 大貫 洋子 | 上都賀総合病院 |
| | 委員 | 星野 紀恵 | 独立行政法人地域医療機能推進機構うつのみや病院 |

特別委員会名

| | 役職名 | 氏名 | 施設名 |
|--------------|-----------|---------|-----------------------------|
| 認定看護管理者教育委員会 | 担当理事 | 馬込 公子 | 公益社団法人栃木県看護協会 |
| | 委員長 | 山口 久美子 | 獨協医科大学看護学部 |
| | 委員 | 増崎 美智子 | 栃木県立がんセンター |
| | 委員 | 中村 美鈴 | 自治医科大学看護学部 |
| | 委員 | 勝城 友子 | 芳賀赤十字病院 |
| | 委員 | 小林 阿由美 | 済生会宇都宮病院 |
| | 委員 | 渡邊 芳江 | 自治医科大学附属病院 |
| | 専任教員 | 菊地 涼子 | 自宅 |
| | 専任教員 | 篠原 孝子 | 自宅 |
| | 訪問看護教育委員会 | 担当理事 | 馬込 公子 |
| 委員長 | | 鳥居 香織 | さくら訪問看護ステーション |
| 委員 | | 鮎澤 みどり | 訪問看護ステーションたんぽぽ |
| 委員 | | 川島 由美子 | 訪問看護ステーションみやの杜 |
| 委員 | | 塚越 梢 | 栃木県保健福祉部健康増進課 難病対策担当 |
| 委員 | | 平石 恭子 | 宇都宮市保健所 |
| 委員 | | 洪生田 薫 | 獨協医科大学病院 |
| 委員 | | 重信 純子 | とちぎ訪問看護ステーションいまいち |
| 栃木看護学会企画委員会 | 委員長 | 渡邊 カヨ子 | 公益社団法人栃木県看護協会 |
| | 学会長 | 内田 暁子 | 県南高等看護専門学校 |
| | 委員 | 石川 敦子 | 芳賀赤十字病院 |
| | 委員 | 上野 広美 | 独立行政法人地域医療機能推進機構埼玉メディカルセンター |
| | 委員 | 井戸沼 由美子 | 那須赤十字病院 |
| | 委員 | 印南 裕子 | 国際医療福祉大学塩谷病院 |
| | 委員 | 清水 みどり | 自治医科大学看護学部 |
| 委員 | 塙 晶子 | 上都賀総合病院 | |

| | 役職名 | 氏名 | 施設名 | |
|-------------------|-----------|----------------------|-------------------------|---------------|
| 実習指導者講習委員会 | 担当理事 | 桜井 美恵子 | 栃木県立衛生福祉大学校 | |
| | 委員長 | 伊藤 恭子 | 栃木県立衛生福祉大学校 | |
| | 委員 | 豊田 豊子 | 那須赤十字病院 | |
| | 委員 | 大貫 紀子 | 自治医科大学附属病院 | |
| | 委員 | 平野 正江 | 獨協医科大学病院 | |
| | 看護大会準備委員会 | 委員長 | 塚本 由紀子 | 栃木市役所 |
| | | 委員 | 渡邊 カヨ子 | 公益社団法人栃木県看護協会 |
| | | 委員 | 朝野 春美 | 自治医科大学附属病院 |
| | | 委員 | 菊池 園江 | 公益社団法人栃木県看護協会 |
| | | 委員 | 馬込 公子 | 公益社団法人栃木県看護協会 |
| 委員 | | 五月女 祐子 | 栃木県立衛生福祉大学校 | |
| 委員 | | 佐藤 君江 | 獨協医科大学病院 | |
| 委員 | | 齋藤 由利子 | 上都賀総合病院 | |
| 委員 | | 江口 健司 | 栃木県立岡本台病院 | |
| 委員 | | 鈴木 太 | 氏家病院 | |
| 看護職確保定着(WLB)推進委員会 | 担当理事 | 菊池 園江 | 公益社団法人栃木県看護協会 | |
| | 委員長 | 細野 克子 | 独立行政法人地域医療機能推進機構うつのみや病院 | |
| | 委員 | 渡邊 カヨ子 | 公益社団法人栃木県看護協会 | |
| | 委員 | 馬込 公子 | 公益社団法人栃木県看護協会 | |
| | 委員 | 齋藤 由利子 | 上都賀総合病院 | |
| | 委員 | 高崎 至子 | 西方病院 | |
| | 委員 | 仁戸部 富恵 | 獨協医科大学病院 | |
| | 委員 | 杉本 友子 | 那須中央病院 | |
| | 委員 | 関谷 由美子 | 那須南病院 | |
| | 委員 | 宮本 律子 | とちぎメディカルセンター 法人本部 | |
| 新人看護職員応援研修委員会 | 委員 | 五月女 幸子 | 栃木県保健福祉部医療政策課 看護職員育成担当 | |
| | 委員 | 赤塚 朋子 | 宇都宮大学 | |
| | 委員 | 小林 茂 | 栃木県労働基準協会連合会 | |
| | 担当理事 | 馬込 公子 | 公益社団法人栃木県看護協会 | |
| | 委員長 | 松本 洋子 | 上都賀総合病院 | |
| | 委員 | 杉本 友子 | 那須中央病院 | |
| | 委員 | 亀田 美智子 | 自治医科大学附属病院 | |
| 委員 | 林田 千春 | 独立行政法人国立病院機構栃木医療センター | | |
| 委員 | 平野 正江 | 獨協医科大学病院 | | |



特集 今年の各委員会事業計画

職能委員会活動計画

保健師職能委員会

保健師職能委員長 五月女祐子



保健師職能委員会活動計画

今、保健師を取り巻く社会状況が大きく変化しており、その変化に対応した保健師の活動が求められています。そのような中、保健師の人材育成は重要な課題となっており、厚生労働省において「保健師に係る研修のあり方等に関する検討会」が開催され、自治体保健師に求められる能力等についての検討が行われていましたが、今春その検討会の最終とりまとめが出されました。

本県の保健師職能委員会としまして、最近の主な活動として「保健師の人材育成」のための研修の企画運営に取り組んでいます。今年度も12月に新任保健師や中堅保健師の資質向上を目的とした「保健指導ミーティング」を実施するなど、保健師の人材育成に積極的に取り組んで参ります。

また、保健師職能委員会の活動をひとりでも多くの保健師の皆様へ御理解いただけるよう、広報活動に努めていきたいと思っております。

自治体、産業、医療機関等、保健師の活動領域は多様化しており、それぞれの領域で抱えている課題も多いと思っております。そこで、それぞれの課題を持ち寄り、相互理解を深めながら、エンパワメントできるような活動を目指していきたいと思っております。

どうか、今年度もよろしくお願ひいたします。

助産師職能委員会

助産師職能委員長 佐藤 君江



助産師職能委員会活動計画

昨年12月にオールジャパンで活躍できる資格として“アドバンス助産師”が誕生し、栃木県でも151人がアドバンス助産師として認定されました。アドバンス助産師とは、「自律して助産ケアができる助産師」であり、その資格取得のための研修を、昨年に続き今年度も「助産師就業支援研修」の中に企画しております。また、新人助産師が自施設外の助産師と交流を深め、職場で生き生きと仕事ができるように、「タッチケア」や「乳房ケア」の研修を企画しています。また、「思春期の性や妊娠を視野に入れた教育活動のコツ」、さらには、「災害時のネットワーク作り」などを企画しております。周産期に関わる職場で仕事をされている助産師・保健師・看護師の皆さま、たくさんの方のご参加をお待ちしております。また、助産師日より「ミッドワイフトーク」や「こうのとりのネットワーク」も看護協会ホームページから是非ご覧ください。

看護師職能委員会

看護師職能委員長 齋藤由利子



看護師職能委員会事業計画

- 1 委員会 7回
- 2 研修会 4回

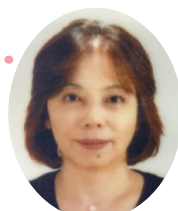
- 1) 平成28年度看護師職能集會講演会
テーマ：明日から役立つクレーム対応
講師：株式会社エファ
代表取締役社長 菊地理恵先生
- 2) 在宅療養支援に関する研修会・交流会
テーマ：「在宅支援」のありかたと看護の課題
日時：平成28年10月31日（月）
対象：病院、老人福祉施設等に勤務する看護職
内容：3事例発表（病院看護師、訪問看護師、老人福祉施設看護師）

- 3) 看護管理者研修会・交流会
テーマ：看護管理者の役割と人材育成への取り組み
日時：平成28年11月30日（水）
内容：3事例発表（看護部長、師長、主任）
ワールド・カフェ形式による情報交換
- 4) 介護・福祉施設・在宅等に勤務する看護職の研修会
日時：平成29年1月31日（火）
テーマ：介護施設等における看取りについて
講師：訪問看護認定看護師 黒崎 雅子先生

常任委員会活動計画

社会経済福祉委員会

社会経済福祉委員長 森川 純子



WLB（ワーク・ライフ・バランス） 魅力ある職場づくりーいきいきと働きつづけるためにー

社会経済福祉委員会で企画・運営するWLB事業は、看護職者の職場定着を目指し、労働環境等の改善および雇用の質向上等、看護師確保定着事業の推進のための取り組みを行っています。「仕事と生活」のバランスを考え働きやすい職場にするための取り組みとして、職場満足度などのインデックス調査を行い、WLBワークショップで行った分析結果から目標設定し、各施設において、職種間を越えた推進体制により取り組みが進められます。

3年間を通して行われるこの取り組みにより、働きやすく、職務満足度が高まることは、職員の定着化や職員採用へ繋がるものです。今年度は、平成28年度診療報酬改定なども加味し、いろいろな施設のWLBへの試みなど、様々な側面から情報提供に努めていきたいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

教育委員会

教育委員長 五十嵐由理子



専門性を高める研修企画をめざして

教育委員会では、「教育と研鑽に根ざした専門性に基づき看護の質の向上を図る」という理念のもと、専門職業人として必要な知識や技術に関する様々な内容の研修会を企画・実施しています。今年度は新しく構築された「看護師のクリニカルラダー」を参考に、看護実践能力を4つの段階に設定し、研修を計画しました。この段階と各受講者が自らの実践段階と対比させ、学びたい研修が選択しやすいようになりました。

昨年度は「医療メディエーションとコンフリクト」「感染管理」「がん看護における緩和ケア」などは多くの申し込みをいただきました。これらの研修については、回数や定員を増やして対応しています。トピックス研修では「スマホ・ネットでのトラブル対策」と「優しさを伝えるケアメソッド『ユマニチュード』」を行います。今後も皆様の要望に応えられるよう、研修を企画していきます。皆様のご参加とご意見をお待ちしております。

広報委員会

広報委員長 塩澤 由香



とちぎの看護の旬な情報発信を目指して

広報委員会では、年4回の「看護とちぎ」発行にあたり、企画・取材・校正を行っていきます。うち2回はナースセンターとの合同号を発行していきます。今年度より、委員会4回、部会8回とし活動していきます。

看護協会の活動や会員の皆様の活動をわかりやすく伝えていきたいと思えます。また、一般の方々へも旬な情報をわかりやすく提供できるように努めていきます。

職場紹介や各施設の活動など原稿の依頼をお願いすることがあると思えます。いきいきと活躍する皆様をたくさん紹介していきたいと思っていますのでご協力をお願いします。また、「味自慢」「わたしの on-off」（趣味の紹介）のコーナーでも皆様からの投稿をお待ちしています。

災害看護委員会

災害看護委員長 本多 秀子



災害支援ナース活動の充実を目指して

栃木県看護協会では、約170名の災害支援ナースが登録しています。災害時には、看護協会からの依頼で被災地の病院や福祉施設、避難所で活動します。災害支援ナース登録をするには、災害看護委員会開催の支援ナース育成のための災害医療と看護（基礎編）、災害育成継続研修を受講し所属施設の許可を得て登録することができます。災害育成継続研修では、東日本大震災と関東東北豪雨災害に派遣された支援ナースの体験談の発表や、災害発生から派遣・活動・帰院までの机上シミュレーション、傷病者の応急処置として包帯法の研修も取り入れています。また、災害支援ナース指導者養成研修に、災害看護委員が参加する予定です。全国あちこちで災害が起こっています。いざという時に活躍できる災害支援ナースを養成するため、私たち委員も日々研鑽に努め、充実した研修を目指していきます。是非、研修に参加し災害支援ナース登録をお願いします。

医療安全対策推進委員会

医療安全対策推進委員長 永井智恵美



変わりゆく時代に求められるチーム医療にこそ、多職種連携の医療安全教育が不可欠！

2015年10月施行の院内事故調査制度をはじめとして、医療界に求められる安全管理体制は時代と共に変化をしています。痛ましい事故から15年以上を経て、やっと、医療安全文化が根付き始めた医療界に、今、求められているのは地域を含めた安全管理体制です。地域医療構想・地域包括ケアシステム時代に連携すべき機関や職種は計り知れません。医療安全対策推進委員会では、患者や家族も含めた多職種連携チームの要となる看護職が、行政や地域、施設、病院で切れ目なく安全推進活動ができるよう研修やイベントを企画しています。問題分析、チームワークトレーニング、医療事故被害者のご遺族を含めた医療安全推進キャンペーンなど、どのレベルの方にもご参加いただけます。是非、施設を越えて声を掛け合い、日頃の仕事仲間と多職種チームでご参加ください。地域包括ケアシステムの成功は、様々な場所で活躍する看護の力と地域を含めた安全文化の構築にかかっています。

一般の方へのコーナー

ジカ熱・デング熱対策

ジカウイルス感染症（ジカ熱）やデング熱の原因となるウイルスは、それらに感染した人の血を吸った蚊（日本ではヒトスジシマカ）の体内で増え、その蚊がまた他の人の血を吸うことで感染を広げていきます。感染してもすべての人に症状がでるわけではありませんが、発熱や関節の痛み、発疹がでるといった症状が1週間ほど続きます。

ジカ熱は妊婦が感染すると小頭症などの先天性障害をもった子どもが生まれたり、デング熱では出血を伴うデング出血熱となり重症化する可能性があります。

やぶなどの蚊がいそうな場所に行くときは、肌を露出せず、虫除けスプレーを使用するなど、いつでも蚊に刺されないように注意する、そんな習慣を身につけることが大切です。

また、流行地に渡航される場合は、現地で蚊に刺されないように注意しましょう。

ジカ熱やデング熱は蚊に刺されることで感染します。

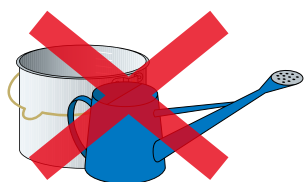
ヒトスジシマカ

背中に1本の白い線とW字状の模様がある4.5mmほどの蚊で、5月中旬から10月下旬ころまで活動します。雑木林や竹林などで繁殖し、主に藪・墓地・公園などに見られます。特に日中に活発に吸血します。活動範囲は50～100m程度です。

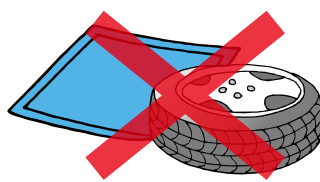


ジカ熱・デング熱の感染もと ヒトスジシマカの発生源を叩け！

ヒトスジシマカは、空き缶に溜まった雨水など、小さな水たまりを好んで卵を産み付けます。住まいの周囲の水たまりを無くすことで、蚊の数を減らすことができます。



野ざらしの用具



雨除けのブルーシートや古タイヤに溜まった水たまり



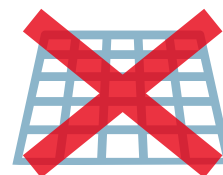
風通しの悪いやぶ・草むら



植木鉢の皿



屋外に放置された空きビン・缶、ペットボトル



雨水ますや排水ます



ふれあい看護体験実施中

看護に興味のある方 お近くの医療施設で体験してみませんか?

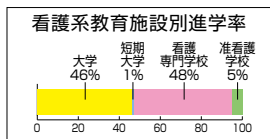
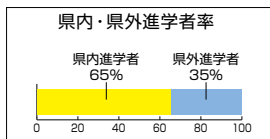
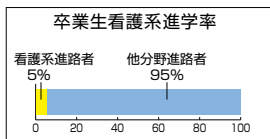
※詳しくは栃木県看護協会ホームページをご覧ください。

平成27年度は、46の医療施設で開催し、948名が参加されました。平成26年度より94名増加しました。なお、看護系教育への進学者885名中、約51%(485名)が「ふれあい看護体験」に参加しており、この体験が進路へ参考になっていることが伺えます。

体験者感想

- 将来看護師になりたいという夢がますます大きくなり、夢に向かって精一杯努力し、素敵な看護師を目指します。
- 大変な仕事をこなしながらも笑顔を決やさない看護師さんを誇りに思います。

看護師の仕事や医療施設を知る良い機会です。是非、ご利用ください。



※高等学校81校(回答率98%)

ふれあい看護体験風景



「看護への道」等の進路相談については、栃木県看護協会ナースセンターにお問い合わせください。

TEL:028-625-6141 FAX:028-625-8988 E-mail:tochigi@nurse-center.net

平成28年度「看護の出前授業」

現場で活躍する看護職員が中学生や高校生等に看護の魅力ややりがい、いのちの大切さ、看護への道等についての出前授業を行っています。昨年度は県内26校(参加者約3,532名)で行われました。今年も多くの学校で予定されています。お気軽にお問い合わせください。

【実施予定】

(平成28年7月現在)

| No. | 実施日 | 実施校 | 講師施設 |
|-----|-------------|-----------------|-------------|
| 1 | 平成28年6月2日 | 栃木県立真岡女子高等学校 | 芳賀赤十字病院 |
| 2 | 平成28年6月6日 | 栃木市立東陽中学校 | 西方病院 |
| 3 | 平成28年6月6日 | 栃木県立茂木高等学校 | 芳賀赤十字病院 |
| 4 | 平成28年6月7日 | 栃木県立黒羽高等学校 | 菅間記念病院 |
| 5 | 平成28年6月10日 | 栃木県立鹿沼商工高等学校 | 上都賀総合病院 |
| 6 | 平成28年6月14日 | 栃木県立宇都宮中央女子高等学校 | NHO栃木医療センター |
| 7 | 平成28年6月30日 | 栃木県立茂木高等学校 | 芳賀赤十字病院 |
| 8 | 平成28年7月5日 | 高根沢町立阿久津中学校 | 黒須病院 |
| 9 | 平成28年7月5日 | 宇都宮文星女子高等学校 | 宇都宮中央病院 |
| 10 | 平成28年7月6日 | 栃木県立鹿沼南高等学校 | 上都賀総合病院 |
| 11 | 平成28年7月6日 | 栃木県立真岡北陵高等学校 | 芳賀赤十字病院 |
| 12 | 平成28年7月7日 | 栃木県立宇都宮北高等学校 | 済生会宇都宮病院 |
| 13 | 平成28年7月8日 | 栃木県立真岡高等学校 | 芳賀赤十字病院 |
| 14 | 平成28年7月14日 | 栃木県立高根沢高等学校 | 芳賀赤十字病院 |
| 15 | 平成28年7月26日 | 佐野清澄高等学校 | 佐野厚生総合病院 |
| 16 | 平成28年9月6日 | 栃木県立佐野高等学校附属中学校 | 佐野厚生総合病院 |
| 17 | 平成28年9月20日 | 栃木県立宇都宮清陵高等学校 | 芳賀赤十字病院 |
| 18 | 平成28年11月19日 | 宇都宮市立陽西中学校 | JCHOうつのみや病院 |
| 19 | 平成28年12月13日 | 栃木県立盲学校 | 上都賀総合病院 |
| 20 | 平成29年3月2日 | 栃木県立黒磯南高等学校 | 那須中央病院 |

お問い合わせ (公社)栃木県看護協会 栃木県ナースセンター ☎028-625-3831

「看護師になるための進路指導者説明会」を開催しました!

6月30日(木)、看護協会研修センターにおいて県内各高等学校で進路指導に携わっている先生方を対象に説明会を開催しました。

10校(13名)の先生方の参加を頂き、「看護への道」を片手に看護職を取り巻く社会状況や、看護大学と専門学校との違い等の説明の後、参加者からの疑問点に対し、県行政の立場、養成施設の立場、看護協会(職能団体)の立場から具体的に率直な意見交換が行われました。

参加者感想

- 大学の良さ、専修学校の良さがそれぞれ分かったので、生徒との面談等で話していきます。
- もっと多くの学校の情報が知りたい。
- 各学校の特色が伺えるとさらに助かります。
- 意見交換会でいろいろ情報を頂けて大変勉強になりました。



お問い合わせ (公社)栃木県看護協会 栃木県ナースセンター ☎028-625-6141



平成27年度 離職状況施設調査結果



ご協力、
ありがとうございました。

対象 107病院 回収率 82.4% 総離職者数 1,138名 離職率 9.1%

1 ①退職者が離職の際に従事していた職種について

| 職種 | 割合 |
|------|-----|
| 看護師 | 80% |
| 准看護師 | 17% |
| 保健師 | 1% |
| 助産師 | 1% |
| 無回答 | 1% |

②退職者は新卒の方ですか。

| 属性 | 割合 |
|---------------|-----|
| 新卒以外 | 92% |
| 新卒者(卒後1年未満の方) | 7% |
| 無回答 | 1% |

新卒離職者数は81名。離職者総数の7.1%でした。

2 退職者の年齢について

| 年齢 | 割合 |
|---------|-----|
| 25歳未満 | 10% |
| 25歳~29歳 | 24% |
| 30歳~35歳 | 23% |
| 36歳~40歳 | 12% |
| 41歳~50歳 | 15% |
| 51歳~60歳 | 10% |
| 61歳以上 | 5% |
| 無回答 | 1% |

25歳~35歳の退職者が全体の約47%を占めている。

3 退職者の勤務歴について

| 勤務歴 | 割合 |
|-----------|-----|
| 1年未満 | 16% |
| 1年~3年未満 | 23% |
| 3年~5年未満 | 20% |
| 5年~10年未満 | 19% |
| 10年~20年未満 | 13% |
| 20年以上 | 8% |
| 無回答 | 1% |

4 退職理由について

退職理由の上位は「県内外他施設への就職合計：17%」「家事・出産・育児：13%」「心身の健康上の理由合計：13%」でした。

5 ①【県内・県外他施設への就職】の理由

②【県内他施設への就職】の理由

③【県外他施設への就職】の理由

県内外の他施設への就職の退職理由については、県内の理由トップは「看護内容：24%」、県外の理由トップは「転居：24%」でした。

6 新卒者(卒後1年未満の方)の退職理由

新卒者の退職理由の上位は、「心身の健康上の理由合計：25%」「適正・能力の不安：20%」でした。

7 退職者の今後の就業について

「結婚・出産・育児」や「心身の健康上の理由」等から、条件が揃ったら就業希望者が約50%でした。

訪問看護師育成に携わって

訪問看護教育委員 鳥居 香織



現在、2025年問題を巡って医療提供体制の改革に基づき、地域包括ケアシステムの構築に向けて各市町村・都道府県が歩みを進めています。そして、訪問看護師はその中心的役割を担う職として大きな期待が寄せられています。

そのような中、平成28年度も「訪問看護師養成講習会」が順調にスタートしました。「期待される責任を負えるかどうか」「利用者の命を任せ、自分のケアが今のままでいいのか」「始めたばかりだが、皆の話を聞きたい」等々、受講生の皆さんからの声がありました。一つの場所に集い、同じ目的を持って講義を受ける中で、訪問看護の魅力を感じ、抱えている不安や悩みを解決し、今後一緒に悩みを共有できる仲間を作ってもらえたらと願っています。また、訪問看護教育委員会では昨年同様、訪問看護師養成講習会・在宅ターミナルケア研修・ALS患者等在宅療養支援研修会・訪問看護新人研修などを企画・運営していきます。

平成28年度「看護職員再就業支援研修」開催中

看護職の資格をお持ちの未就業の方や再学習を希望する就業中の方、お気軽にご参加ください!!

受講料
無料!

内容

講義・演習(各コース・年7回実施)

- 1コース 生活援助技術・処置技術
- 2コース 感染予防・薬物療法の補助技術
- 3コース フィジカルアセスメント・救命処置の技術

日程・会場

| コース名 | 開催場所 | | |
|------|------------------|-----------------|----------------------|
| | 国際医療福祉大学 塩谷病院 | 宇都宮中央病院 | とちぎメディカルセンター とちのき |
| 1コース | 7/19 11/30 | 8/30 10/18 1/24 | 9/14 11/16 |
| 2コース | 7/20 12/1 | 9/1 10/20 1/26 | 9/15 11/17 |
| 3コース | 7/21 12/2 | 9/2 10/21 1/27 | 9/16 11/18 |



※詳細はホームページをご覧くださいか、栃木県看護協会までお問い合わせください。

お問い合わせ先

(公社)栃木県看護協会 栃木県ナースセンター
☎028-625-6141 <http://www.t-kango.or.jp/>



看護職の相談こ～な～す! 6か所のハローワークで開催中

看護師になりたい!
どうしたらいいの?

子どもを預けて、
仕事できるかしら?
育児と家庭
両立できるかしら。

久しぶりに看護職に
復帰したいけど…
仕事内容に不安だわ



昨年度は70件の相談がありました。
就業・研修・その他の悩み・何でも大丈夫ですよ。

※看護職(保・助・看・准)や全般についての
相談コーナーです。お気軽にお近くのハ
ローワークにお越しください。

(公社)栃木県看護協会 栃木県ナースセンター
☎028-625-3831

無料

第2火曜日
小山

第4水曜日
栃木

第2水曜日
黒磯

相談時間
13:30~15:30

第4火曜日
真岡

第3火曜日
足利

第3水曜日
宇都宮



看護師等の届出サイト

登録はお済みですか？ とどけるん

看護師等の届出制度(努力義務化)開始後の現状について

この制度は少子化が進む現状を踏まえ、看護職員の人材確保を進めるために潜在看護職を含めた離職中の看護師等の復職支援を行うための制度です。



| | |
|-----------------------|------|
| 平成27年10月1日～平成28年3月31日 | |
| 届出登録者(ID登録含) | 182名 |

| | |
|--------------|-----|
| 未就業で就業希望者 | |
| ナースセンター登録希望者 | 82名 |

| | |
|------------|-----|
| ナースセンター登録者 | 54名 |
|------------|-----|

eナースセンターにインターネット登録をすると「看護職員再就業支援研修」等の研修支援や具体的な就業活動時の自動マッチングシステム・地図検索機能等の活用ができます。

この機会に「とどけるん」登録とeナースセンター登録を連携して行ってみませんか？
栃木県ナースセンターは多くの方々の復職を応援しております。

(PC版/スマホ版)
<https://todokerun.nurse-center.net/todokerun/>



転職・復職・届出のご相談は栃木県ナースセンターへ

(公社)栃木県看護協会 栃木県ナースセンター ☎028-625-3831 E-mail: tochigi@nurse-center.net

利用曜日及び時間 月～金曜日 平日9時～16時

eナースセンター(無料職業紹介サイト)登録で困っていませんか？

ID申請から進めない！

①メール受信設定をしていませんか？

- 迷惑メールボックスに入っていないですか？
- 「nurse-center.net」ドメインを受信リストへ登録しよう！

②メール受信後、プロフィール登録を！

- URLコードを開き「プロフィール」クリック
- 必要事項を入力。グレーの部分に何か隠れているぞ！→クリックして確認しよう。
- 必要事項を入力しよう！
- 「確認」→「登録」
- プロフィール登録完成

③「求職票」を作成しよう！

- 「求職票」をクリック
- ②と同様に必要事項を登録しよう！
- 「確認」→「登録」
- 自動マッチング機能や地図検索機能を活用しよう！
- これで、NC紹介応募ができるぞ！



新規登録時「既に登録されています」とエラーメッセージが表示されて登録できない。

確認しよう！

他県で登録したかな？

旧姓登録したかな？

別のアドレス登録したかな？

うまくできない

ナースセンターへ問い合わせよう！

公益社団法人 栃木県看護協会 栃木県ナースセンター 看護師等無料職業紹介所(ナースバンク)
〒320-8503 宇都宮市駒生町3337-1 とちぎ健康の森4F
TEL : 028-625-3831 FAX : 028-625-8988 E-mail : tochigi@nurse-center.net

総会要綱 正誤表

6月18日(土)に開催いたしました、平成28年度通常総会の要綱に一部誤りがございましたので、お詫び申し上げますとともに訂正させていただきます。

| | 正 | 誤 |
|-----|--|--------------------------------|
| P27 | 宇都宮地区支部 共催研修「健康づくり講座」 参加者数 <u>市民</u> 35名 | 参加者数 <u>病院職員</u> 35名 |
| P28 | 県西地区支部 ※1 追記 | |
| P45 | 前文 …… <u>計32名</u> の立候補者を推薦並びに 候補の受付を行いました。 | <u>計33名</u> |
| P59 | 第29回栃木県看護大会感謝状受賞者 ※2 追記 | |
| P70 | 栃木地区支部 <u>1,653名</u> 小山地区支部 <u>2,195名</u> | <u>1,648名</u> <u>2,200名</u> |
| P73 | 地区支部・施設・職能別会員数 ※3 | |

※1 県西地区支部 活動報告

| 項目 | 内容 | 開催日及び会場名 | 参加者数 |
|------|---|----------------------------|--------------------------|
| 共催研修 | 認知症看護 講師：上都賀総合病院 認知症看護認定看護師 坪山 範子 | 1月22日 上都賀総合病院 スカイホール | 会員 63名 非会員3名 計 40名 |

※2 第29回栃木県看護大会感謝状受賞者

| 職種 | 氏名 | 勤務先 |
|------|--------|-------------------------|
| 看護師 | 寺内 芳子 | 佐野厚生農業協同組合連合会佐野厚生総合病院 |
| 准看護師 | 蛭田 澄江 | 国際医療福祉大学塩谷病院 |
| 看護師 | 松島 さゆり | 芳賀赤十字病院 |
| 看護師 | 村松 京子 | 日光市民病院 |
| 看護師 | 柳田 直美 | 独立行政法人地域医療機能推進機構うつのみや病院 |
| 看護師 | 野澤 悦夫 | 至誠会 滝沢病院 |

※3

| 栃木地区支部 | | 保健師 | 助産師 | 看護師 | 准看護師 | 合計 |
|--------|----------|-----|-----|-------|------|-------|
| 施設No. | 施設名称 | 80 | 68 | 1,448 | 57 | 1,653 |
| ⋮ | | | | | | |
| 36 | 岩舟町健康福祉課 | 5 | | | | 5 |
| ⋮ | | | | | | |
| 小山地区支部 | | 保健師 | 助産師 | 看護師 | 准看護師 | 合計 |
| 施設No. | 施設名称 | 75 | 68 | 1,941 | 111 | 2,195 |



新会員証・平成29年度継続申請書の送付が始まります！

平成28年8月末より、順次「新会員証」および「平成29年度継続申請書」の発送が始まります。

新会員証

毎年発行される紙の会員証から永年使用のプラスチックの会員証に変わります。会員毎に封筒に入れてお届けいたします。

現行会員証

新会員証

表面

JNA会員番号 **県協会会員番号**

裏面

会員証デザインは、流線形を用いて躍動感や上品さを表現しています。

平成29年度継続申請書

平成29年度受付分より会費納入方法が変更となるため、継続申請書の様式も変更となります。

施設会員の方は継続申請書の提出に際し、施設代表者の方へ会費の納入方法や書類の提出期限をご確認ください。

平成29年度前納受付期限

平成29年度の前納受付は **10月31日**までとなっておりますが、10月初旬までにお手続きをお願いします。例年より締切期限が早くなっておりますのでご注意ください。

味自慢

超簡単ヘルシーとりハム



●材料

| | | | | |
|------|--------|----|--------|-----------|
| とり胸肉 | 1枚 | 胡椒 | 少々 | 【ソース】 |
| 塩 | 小さじ1/2 | 砂糖 | 大さじ1/2 | タルタルソースなど |

●作り方

- 1 鶏肉の皮を剥ぎ、観音開きにする。
- 2 塩、胡椒、砂糖を1の鶏肉に擦り込む。
- 3 2をくるくる棒状に巻きラップできつく包む。
- 4 ジップロックに入れて空気を抜いて閉める。
- 5 沸かしておいた熱湯に4をいれて2分間茹で、火を止める。
- 6 そのままお湯の中で冷めるまで置いておく。
- 7 5mmくらいの厚さに切り、好みの夏野菜とともに盛り付けソースをかける。

料理提供者：国立病院機構 宇都宮病院 上武 直美

わたしの on-off

週末ライダー

主人はライダーとなって30年。私もライダー歴29年（実はペーパーライダー）。今は、後部座席専門！休日は山や海へ美味しい物を食べにGO！



写真提供：佐野厚生総合病院 M・K

第20回栃木看護学会学術集会

メインテーマ 広げよう つなげよう 看護の力 —『地域包括ケアシステム』における看護の役割—

期日 平成28年11月15日(火) 1日間 **会場** 栃木県総合文化センター

集会長 公益社団法人栃木県看護協会
とちぎ訪問看護ステーション統括所長 鱒淵 清子

シンポジウムテーマ 医療と生活をつなぐ看護の役割

広報委員交代



福田裕美子



久米川晴美



安澤加代子



新井香織



大塚明子



大出悦子



佐藤由紀子



田仲史子

編集後記

新会長のもと、平成28年度の活動がスタートしました。広報委員も4名の交代がありました。今後も魅力ある広報誌をめざしていきたいと思います。(山口)